

専門医療機関連携薬局の認定申請書に添付する書類等について

(第2項第1号)

1 利用者の服薬指導等の際に配慮した構造設備

→ 該当する設備について、構造がわかる図面、写真等

(第2項第2号)

2 高齢者、障害者等の円滑な利用に適した構造設備

→ 該当する項目の設備について、構造がわかる図面、写真等

(第3項第3号)

3 がん治療に係る医療機関に勤務する薬剤師等に対して随時報告及び連絡した実績

→ 過去1年間の実績として報告及び連絡した際の資料(情報提供文書等)の写しを1回分
(個人情報に該当する箇所はマスキングすること。)

(第3項第4号)

4 他の薬局に対して報告及び連絡することができる体制

→ 他の薬局に対して利用者の薬剤等の情報を報告及び連絡する際の方法等を示した手順書等の写し(該当部分がわかるように印をつけたもの)

(第4項第1号)

5 開店時間外の相談に対応する体制

→ 「相談できる連絡先や注意事項等の周知方法」については、薬局で用いている利用者等に交付する文書、連絡先等が記載された薬袋等の例

(第4項第2号)

6 休日及び夜間の調剤応需体制

→ 地域における調剤応需体制がわかる資料として、具体的な休日及び夜間における当番日を示すもの等

(第4項第3号)

7 在庫として保管するがんに係る医薬品を必要な場合に他の薬局開設者の薬局に提供する体制

→ 他の薬局開設者の薬局からの求めに応じてがんに係る医薬品を提供する場合の手順を示した手順書等の該当箇所の写し(該当部分がわかるように印をつけたもの)

(第4項第6号及び第7号)

8 継続して1年以上常勤として勤務している薬剤師の体制

がんの専門性を有する常勤として勤務している薬剤師

→ 「第6号又は第7号に該当する薬剤師一覧」は、該当する薬剤師の氏名、免許番号、常勤の勤務期間、がんに係る専門性の認定の有無を記載した一覧

→ 第7号に該当する薬剤師は、規則第 10 条の3第6項に規定する基準に基づき厚生労働大臣に届け出た団体から認定を受けたことを証する書類の写し

(薬剤師一覧の記載例)

薬剤師の氏名	〇〇 〇〇(第〇〇〇〇〇〇)
常勤の勤務期間	平成〇〇年〇月〇日～現在
がんに係る専門性の認定の有無	有(〇〇学会認定)

(第4項第8号)

9 がんに係る専門的な内容の研修の受講

→ 研修の実施計画の写し

(第4項第9号)

10 地域の他の薬局に対するがんに係る専門的な内容の研修の受講

→ 研修の実施計画の写し

(第4項第10号)

11 地域の他の医療提供施設に対するがんに係る医薬品の適正使用に関する情報提供

→ 情報提供した文書等を1回分

(情報提供の内容は、抗がん剤や支持療法で用いられる医薬品の有効性及び安全性の情報や特徴等の医薬品の適正使用に関する情報)